

大森東小だより



「スマホ脳の怖さ」 校長 横山 稔

昨年の11月に「スマホ脳」という本が出版されました。スマホ脳の怖さを感じ大きな衝撃を受けました。

私たち人間の行動は、「テクノロジーが発達する前の何百年もかけて、その環境の中で進化してきた脳が、いろいろな行動の選択を行っている」という点について、とても納得してしまいました。そして、それ以上に、本の中にある「スマホは私たちの最新のドラッグである」、「バカになっていく子どもたち」というショッキングな見出しにも驚いてしまいました。

この本の筆者アンデシュ・ハンセン氏は、IT企業の創始者や開拓者たちが、自分の子どもが幼い時には、スマホやタブレットを自由に使わせなかった例を引き合いに、彼らが実はこれらのデジタル機器の依存性の高さを知っていたからだという事実を提示しています。しかも、大人以上に子どもの依存が簡単に起こることともわかっていたようです。人間の衝動に歯止めをかける脳の前頭葉の部分は、25～30歳になるまで完全には発達しない。つまりそれまでの間、欲求を抑える力が弱い段階では、その魅力に抵抗するのは大変に困難で、止めることができなくなる。構図で言うと、スマホを「取り上げる親と泣き叫ぶ子ども」という状態になってしまおうと書かれています。

自分自身、携帯電話・スマホを持ち始めて、「学生の頃は携帯なしで待ち合わせをしていたのに・・・。」と思うことがあります。あの頃は、頭を使い、無い知恵を絞って、考えることを常にしていたような気がします。今では、分からないことはすぐに検索して調べたり、ちょっと記録したいことはカメラで映像に残したりと、便利な機能をたくさん使って生活しています。それだけでなく、ゲームや動画、音楽も楽しめます。スマホのない生活なんて、今ではとても考えられません。こんなに便利で有意義で、実生活に適していて、そして楽しさ満載のスマホやタブレット、子どもたちが「やめられない」のは当然かもしれません。一方、学校ではタブレットを使用した学習が本格化してきています。ハンセン氏は、「デジタルな道具を賢く使わなければならないし、それにはデメリットがあることも理解しておかななくてはならない。」と言います。デジタル機器そのものが悪いわけではないので、正しく有効に使えるようにすると

学校目標

・考える子ども ・温かい子ども ・強い子ども

9月行事予定

9/1	水	始業式、4時間授業、給食無し 引き取り訓練
2	木	給食始
4	土	土曜授業日、土曜補習
6	月	全校朝会、夏休み作品展開始、委員会活動計測(3・4年) 都学力向上を図るための調査(4～6年)
7	火	計測(1・2年)
8	水	体育朝会、区漢字検定、保護者会(1～5年)
9	木	安全指導、計測(5・6年)、補習
10	金	伊豆高原移動教室前日検診(6年)
13	月	全校朝会、伊豆高原移動教室始(6年)
14	火	伊豆高原移動教室終(6年)
15	水	体育朝会、4時間授業(5年以外)
17	金	体育学習発表会特別時程始 稲刈り(5年) 夏休み作品展終
21	火	全校朝会、稲刈り予備日(5年)
22	水	音楽朝会
27	月	全校朝会
29	水	体育朝会

もに、生活の中でどう付き合っていくか考えなければなりません。まずは大人が、どんな影響があるのかしっかり把握し、子どもたちにどう使わせるのか、真剣に考えていく必要があります。

文科省の「GIGAスクール構想」を受け、タブレットが一人一台配られています。学校の授業でも、持ち帰り家庭学習でも、いろいろな学習機会にタブレットを使う方向性が示されています。そして家庭では、子どもの防犯や安全を考えて、スマホを持たせ、スマホを使う時間が大幅に増えている現実があります。実際、ここ数年、子どもたちの視力低下は明らかに進んでいる調査の結果が出ています。スマホやタブレットの使い方や使う時間など、正しく有効に使う方法を学ぶとともに、家庭では寝室に持ち込むのをやめようと、ハンセン氏は提案しています。